

::■ 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート ■::

評価年月日： R7.3.14

1 基本事項	
公の施設の名称	山村活性化支援センター
指定管理者の名称	株式会社ジェイアール東日本企画
指定期間	令和6年1月1日 ~ 令和8年3月31日
施設設置条例の名称	山村活性化支援センター設置条例
施設の設置目的	地域住民の交流を図り住民活動を促進するため、支援センターを設置する。
施設概要	別紙のとおり
施設所管課の名称	総務課

2 管理実績					
項目（単位）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用者数合計（人）	-	-	2,573	-	-
利用料金合計（円）	-	-	912,070	-	-
貸館率（％）	-	-	-	-	-
（ ）					
（ ）					
（ ）					

3 成果指標の達成度	
指標名（単位）	施設利用日数（日）、利用人数（人）及び利用料（円）
指標式と指標の説明	当該施設を拠点とした、小さな企業誘致やローカルビジネス展開を効果して見据えており、指標として設定した。

指標① 施設利用日数

項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標値（単位）	-	-	80	180	240
実績値（単位）	-	-	88		
達成度（％）	-	-	110.0%	0.0%	0.0%

※施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

::■ 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート ■::

評価年月日： R7.3.14

指標② 利用人数

項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標値 (単位)	-	-	465	760	1,500
実績値 (単位)	-	-	2,573		
達成度 (%)	-	-	553.3%	0.0%	0.0%

※施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

指標③ 利用料

項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標値 (単位)	-	-	120,000	1,550,000	2,800,000
実績値 (単位)	-	-	912,070		
達成度 (%)	-	-	760.1%	0.0%	0.0%

※施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

::■ 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート ■::

評価年月日： R7.3.14

4 評価		
指標名 (単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	S	民間活力を活用した新たな施設機能の向上と施設利用者の増加を図る目的に指定管理者制度の導入したことで、質の高いサービスの提供と地域における新たな経済循環の仕組みづくりに寄与した。 常盤地区住民との協働において、施設運営・管理を実施した。
事業・業務の履行状況	S	小さな企業誘致やローカルビジネスの展開につなげていくため、オフィス利用者の獲得やコワーキングスペース利用者に対するアンケートを実施することで、利用者の増加に向け取り組んだ。
利用者満足度の向上度	S	アンケートの実施によるニーズを把握し、ニーズに対してより良い対応が図られた。
財務状況の適正性	S	利用者の獲得による利用料の収益によって、自主財源の獲得に努めていた。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

※モニタリングシート（3 成果指標の達成度）における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S：当該年度の達成度が115%超
- A：当該年度の達成度が105%超かつ115%以下
- B：当該年度の達成度が95%超かつ105%以下
- C：当該年度の達成度が95%以下

【事業・業務の履行状況】の評価基準

※モニタリング基礎シート（様式1）における“評価②”の内容について、次の基準により評価する。

- S：全ての評価項目に「★」もしくは「☆」がつき、「★」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A：全ての評価項目に「★」もしくは「☆」がつき、「★」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B：全ての評価項目が「☆」である。
- C：「★」と「☆」のどちらもつかない項目がある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

※モニタリング基礎シート（様式2）における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S：当該年度の達成度が115%超
- A：当該年度の達成度が105%超かつ115%以下
- B：当該年度の達成度が95%超かつ105%以下
- C：当該年度の達成度が95%以下

【財務状況の適正性】の評価基準

※モニタリング基礎シート（様式3）における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

S：評価対象年度の決算における翌年度への繰越金がプラスかつ施設所管課による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

A：評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず（予定外の自主事業等へ対応した場合を除く）、施設所管課による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

B：評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが（予定外の自主事業等へ対応した場合を除く）、施設所管課による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

C：評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている（予定外の自主事業等へ対応した場合を除く）、または施設所管課による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」もしくは「重大な懸念がある」とされた場合

※客観的評価として以上の基準によりS・A・B・Cを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年月日： R7.3.14

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>民間活力を活用した新たな施設機能の向上と施設利用者の増加を図る目的に指定管理者制度の導入した。その目的にあった、質の高いサービスの提供と地域における新たな経済循環の仕組みづくりに寄与した。結果、設定目標を達成することで、使われる施設にシフトし、小さな企業誘致やローカルビジネス展開につながる行動を次年度意向も継続いただきたい。</p> <p>※質の高いサービス IoTを活用したスマートオフィス(無人での運営拠点)の構想であるが、7+0<sup>g</sup>的な当該施設維持運営から入居希望者や企業の7+0<sup>g</sup>等を実施。常盤地区との親和性を築き、サービスの向上に寄与。</p> <p>※地域における新たな経済循環の仕組みづくり ローカルビジネスの拠点の運営、ワーキングスペースの稼働</p>
------	---